

ぶらっと立ち寄り  
お茶を飲み会話しながら  
趣味や仕事を楽しむ場です

# ぶらっとホーム<sup>®</sup> おゆみ野

## ～STEM (=実体験) を基礎とした算数教育～



### 算数大好き、そして発明大好きっ！

4月、算数教室 (アフタースクールの継続プログラム) にやってきたピカピカの1年生たち。教室に入ることができなかった〇〇くん、「6」を  $\text{㊟}$  と書いていた〇〇ちゃん、「シールを1つ貼りましょう」と言ったのに3つも4つも貼っちゃった〇〇ちゃん、枠の中に数字を書くことすら難しかった子ども達も、夏休みを終え、今では立派な小学生です。「さんすう大好きっ」と言いながら、教室を後にする子ども達を見ながらこの気持ちを持続させ、やがて「算数って面白い！」と思えるようになるには、いかなる授業(算数ゲーム)を提供すべきか、と問いを巡らせています…が、行きつく先はやはり、私が目指すところの「発明大好きっ子を育成するためのSTEM教育」です。

ということで、令和6年度後期の算数教室を迎えるにあたり、打ち立てたコンセプトは「実体験に基づくSTEMをベースとした算数教育」です。

### STEMをベースに算数を教える！

「科学・技術・工学・数学の母体作り (STEMm)」というコンセプトを掲げて始めて始めた算数教室。そこでぶちあたった壁は、問題文を読もうとしない子が、進んでプリント学習に取り組むようになるには、如何なる指導が必要かということでした。「算数の文章題大好きっ」と言ってもらえるようにするには、どうすればよいか…と思索を重ね、辿り着いたのが、この「STEMをベースとした算数教育」です。

4年生の理科で使う上皿天秤を用いて「 $1 + 2 + 2 = 5$ 」を実験したときの子どもたちの眼の輝き！ このような実体験を文章化させ、「文字」に対するハードルを低くすれば「算数の文章問題大好きっ子」を育成できるのではないかと思索中です。

### 算数を通じてSTEMを学びやがて発明！

私共の算数教育が「STEMをベースとしたもの(STEM⇒算数)」であるとすればSTEM教育は算数をベースとしたもの、つまり「算数⇒STEM(Mは数学)」です。

算数を通じて科学・技術・工学・数学を展望すると共に、社会に目を向けることで「目の前の課題」を発見させることです。 その課題の解決するためのプログラミングの過程で閃いたアイデアが、まさに発明！ 課題を解決しようと試行錯誤することを楽しめる子ども (発明大好きっ子) を育成することが、私共のSTEM教育の目標です。このようなSTEM教育を私共と共に創造しませんか？

毎月第4火曜日10時～、当店においてSTEM教育研究会を開催しております。9月のテーマは「位 (大きな数、小数) を如何に教えるか」です。位の概念を実体験させるための教具 (試作品) を紹介しますので、皆様のご意見・ご感想を賜りたく、ご参加のほどお願い申し上げます。

認知症カフェ「ぶらっとカフェおゆみ野」では、たとえ認知症になっても生涯現役を目指す方に向けてのプログラムを実施中。

今回は9月12日 (第2木曜) です (@プラザ学園前集会所、座席を確保したい方はメール (oyuminoc4231@gmail.com) でお申し込みください)。